



八日市地区生活支援サポーター

おうえんたい  
あなたの応援隊八日市

困っていることに、お互い  
になにかできないだろうか、  
という思いで活動を始めた住  
民の助け合いグループです

# 八日市地区のみなさんの 「助けて」という声に暮らしのお手伝い！

例えば、こんなことで困っていませんか…？

- ・話し相手になってほしい…
- ・部屋の重い物の移動や整理整頓を手伝ってほしい…
- ・ゴミ出しを手伝ってほしい…
- ・買い物を一緒に付いてきてほしい…
- ・スマホを使えるようになりたい…

まずはお気軽にお電話してください。



八日市地区生活支援サポーター

※内容によっては、お手伝いできないこともありますのでご相談ください。

〈お問い合わせ先〉

電話 080-4564-3416 (受付時間 9:00 ~ 18:00)

◆月曜日・木曜日の13時～16時は、八日市コミュニティセンターにサポーターがいます

グループ活動を続けていくための協力金をお願いします。

基本 1時間：100円

- ・実費負担が必要な場合があります。
- ・活動で知りえた個人情報には厳守します。

春先からの新型コロナウイルスの蔓延で、大変な時期に、また大雨による災害がまた発生する。九州地方や中部地方で、河川の氾濫やが崩れなど、大勢の犠牲者が出ました。また、避難所ではコロナ対策も、不自由な生活を余儀なくされていることと、思っています。

改めて今回の大雨で犠牲になられた方のご冥福をお祈りするとともに、被災された方々にお見舞い申し上げます。

今回の大雨をもたらした線状降水帯は、次から次と発生し、期間雨が降り続きました。線状降水帯はどこにでも発生する可能性があります。この滋賀県、東近江市で発生して豪雨となつてもおかしくはないのです。また、市を流れる愛知川が氾濫、また、堤防が決壊すると、日野市、冠水するところもあり、状況が危うい状態です。

なつたら、何を差し置いても身を守ることを一番重要とします。

うかがう早めの避難してください。

日頃からの避難の位置や経路を確認したり、避難所の位置や袋の点検等に心掛けたいものです。

り、これからは台風シーズンとなり、強風や大雨、風による被害が最大限に留まるよう、注意しましょう。

(浦根)

## 片言隻句

編集・発行  
八日市地区まちづくり協議会 八日市コミュニティセンター内  
IP:050-8034-1141 NTT:23-4120 FAX:23-4120  
E-mail:8comi920@e-omi.ne.jp



Instagram



LINE



八日市まち協で検索または



みんなてつくろう！ようかいちのまち

# 八日市まち協だより

第56号

令和2年8月発行

## まちつなぎ八日市がスタート

東近江市では、高齢者が住み慣れた地域で生きがいを持った暮らしを継続していくために、介護保険等ではカバーできない生活支援サービスを提供する生活支援体制整備事業（委託事業）が、地区単位で取り組まれることになりました。八日市地区まちづくり協議会ではこの事業を受託し、「まちつなぎ八日市」として事業を始めることといたしました。まちつなぎ八日市では、下記の4事業のほか、地域の様々な活動や集いの場を把握し見える化したり、住民のみなさんが必要としているボランティアの掘り起しなどを行います。

いよいよ9月から事業が始まります。脳活教室、スクエアステップ、ままこまちの各教室は、八日市コミュニティセンターで申し込み（年齢、性別を問いません）を受け付けます。また、電話、メールでも受け付けます。

## あなたの応援隊八日市 サポーター募集！！

私たちの住む地域には、ちょっとした困りごと、さびしさを抱えて暮らしている方がおられます。困っている方へ自分にできることでちょっとお手伝いすることで、お互いの心や暮らしが豊かになります。そんな困りごとをお助けするのが「あなたの応援隊八日市」（4面参照）です。

住民みんなが気軽に「助けて！」と言い合える八日市地区をつかっていくために、あなたの持つ「力」と「時間」そして「あたたかい気持ち」を活かしてみませんか？

あなたの応援隊八日市では、サポーターを募集しています。お手伝いいただける方は下記までご連絡ください。

080-4564-3416

## スクエアステップで 脳トレ&介護予防

スクエアステップは、高齢者の要介護化予防（転倒予防・認知機能向上）をはじめ、成人の生活習慣病予防などに効果があります。

まちつなぎ八日市では、スクエアステップのサークルで覚えていただき、各総自治会や高齢者サロンに広がればよいと考えています。

まずはやってみるから。9月17日（木）の9時30分から八日市コミセンホールで行いますので、ぜひお越しください。申し込みは八日市コミセンへ。

## 脳活教室 9月2日から 脳活教室を始めます

昨年ご好評をいただきました脳活教室を、9月から毎月第1水曜日に開催いたします。脳活教室は、手作りの木製パズルや漢字や数字のシートを使って脳の活性化を図る教室です。

毎月第1水曜の9:30～11:00に八日市コミセンにて開催します。（1月のみ第2水曜）

日程は、  
9月2日、10月7日、11月4日、12月2日、  
1月13日、2月3日、3月3日です。

申し込みは、八日市コミセンへ。

## ママと子と町をつなぐ「ままこまち」

ままこまちがスタートします。ままこまちは、ママがワークショップやセミナーに参加すると同時に、子どもたちを地域の高齢者が見守るという、三世代の交流からまちづくりに繋げていく新しい形。運営はママさんグループ「ままりと」さん。

第1回目は、  
9月8日（火）10:00～11:00  
（9:50受付）

会場：八日市コミュニティセンター  
内容：天然アロマを使った除菌スプレーのワークショップ  
対象：0～6歳（未就学児）のお子様をお持ちのご家族

参加費：500円（材料費）  
お子様は、スタッフと一緒に別室のプレイルームや、同時開催のはちのひカフェに来られている地域の方々と交流して過ごします。

申し込みは八日市コミセンへ。



# 八日市ふるさと絵屏風を寄贈

歴史文化プロジェクトでは昨年に完成したふるさと絵屏風のレプリカを作成して、地区内の各総合自治会にはすでに寄贈していましたが、今般地区内の学校にも寄贈しました。

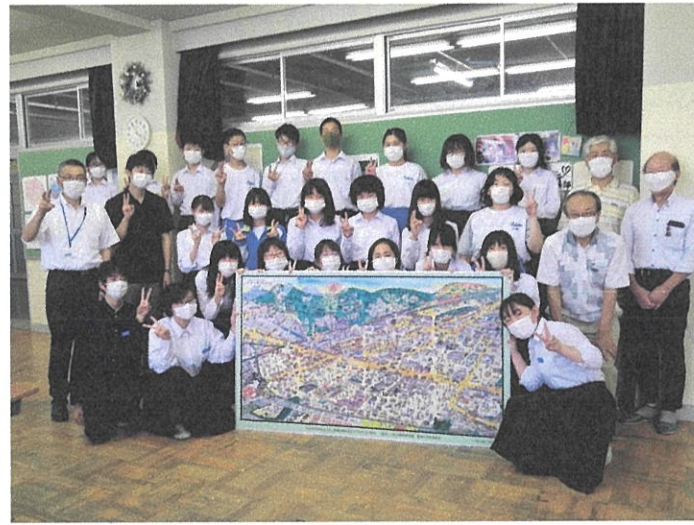
6月22日に箕作小学校と八日市北小学校へ贈りました。箕作小学校には出前講座にも行った関係から、その時の3年生（現在4年生）が全員で



迎えてくれました。ちょうど滋賀報知新聞に絵屏風の間違探しが掲載されていることから、

家庭でもかなりの話題になっているようでした。

6月29日には、絵屏風の制作を手伝っていた、聖徳中学校と八日市高校の美術部の皆さんにお渡ししました。聖徳中学校ではスマイルネットの取材もあり、ケーブルテレビの放送をご覧になった方もあると思います。八日市高校では昨年は聖徳中学生として手伝い、今年は八日市高校生となった部員もいて懐かしそうに見てくれてい



ました。学校での地域の歴史の勉強の教材として活用していただけたらうれしい限りです。

また、当プロジェクトでは現在絵屏風のカルタを作成しようと、地域の皆様にカルタの読み札を募集しているところです。あいうえお50音全部でなくても結構です。思いつくままに絵屏風の中の絵に文言を付けてください。

カルタが完成しましたら、カルタ大会などを開催しようと考えています。

(浦根)

古くより京、大阪から東日本へ向かう要路は、東海道、東山道（近世中山道）、北陸道の三道で、そのすべてが近江を通ることから、近江は西日本と東日本との交通の要衝になった。

中でも中山道は、東海道（接続地・草津）をはじめ朝鮮人街道（野洲行畑）、八幡街道（武佐）、御代参街道（小幡）、多賀道（高宮）、北陸道（鳥居本）等、近江の主要道と接する取分け重要な道であった。

中山道は江戸日本橋を起点に、終点の京三条までの間に69宿が設けられ、近江には柏原宿から大津宿まで10宿があった。65番目の愛知川宿と66番目の武佐宿間の清水鼻（しみずはな 五個荘清水鼻町）は、観音寺山（織山 きぬがさやま）と箕作山（清水山）が両側から中山道に迫り隘路になっている地形から、近江の中山道の中で軍事的に最重視された地点であった。これは次の事例からうかがえる。鎌倉時代、近江源氏を名乗り絶大

あれやこれや（其の十三）中山道清水鼻の巻



な権力を持った佐々木氏は、清水鼻を見下ろす観音寺山（織山）に観音寺城を築き、近江守護として近江を支配した。織田信長は観音寺山の支峰である安土山に安土城を築いた。当時の安土城は琵琶湖に接していて、軍事的な意味合いの他に琵琶湖の水運を利用する利便性も併せて持っていた。

豊臣秀吉は清水鼻に近接する八幡山城に甥の秀次を置いた。10年後、八幡山城は廃城となるが、五奉行の一人、石田三成を近くの佐和山城に置いた。関ヶ原の戦いの後、徳川家康も四天王の一人井伊直政を佐和山城主とし近江を重要視した。  
(森野)

え  
屏風で  
むかしの情景  
よみがえる

よ  
み札で  
クリアファイル  
を  
プレゼント

## ふるさと絵屏風でカルタづくり

歴史文化プロジェクトでは、左のコラムに書いてあるように、八日市ふるさと絵屏風を題材にしたカルタを作ります。絵屏風の場面から読み札を考えて、読み札に合う場面を赤○で囲んでください。絵札はプロジェクトで作成いたします。応募用紙と絵屏風のリーフレットをセットにしてご用意いたしますので、コミセンまでお越しください。締め切りは9月10日です。

また、絵屏風の大きなレプリカも展示しておりますので、こちらもお覧いただき考えてください。



## 新しい地域担当職員さんのご紹介

八日市地区でまちづくりに関わっていただく地域担当職員の方です。2年間よろしくお願いいたします。また、お世話になりました栗田さん、中江さん、松谷さんにつきましては、異動や転居により退任されました。ありがとうございました。

今年度から八日市地区の地域担当職員に任命されました東近江市管理課の塚本と申します。まちづくり協議会や自治会の活動に係る企画に携わり、地域の課題等について皆様と共に考え、より良いまちづくりの実現に向けて、微力ながら全力で取り組んでいきたいと思っております。今後ともよろしくお願いいたします。



塚本 明さん



加藤洋大さん

平成29年から八日市地区の地域担当職員をさせていただいている公共交通政策課の加藤です。皆さんと一緒に、よりよい八日市地区にできるよう努めたいとおもいますので、些細なことでも相談いただければと思います。どうぞよろしくお願いいたします。

引き続き、八日市地区の地域担当職員に任命されました東近江市観光物産課の羽泉と申します。八日市地区の皆さんとともに、よりよいまちづくりに向けて共に進んでいきたいと思っております。2年間なにとぞよろしくお願いいたします。



羽泉亮太さん



村田佳之さん

引き続き、八日市地区の地域担当職員に任命されました東近江市人事課の村田です。地域と行政の相互の情報伝達役・地域内の活動団体のつなぎ役としては、まだまだ未熟ではありますが、八日市地区のまちづくりについてみなさんと共に考え、支援を行えるよう取り組みたいと思っております。よろしくお願いいたします。